国立大学法人 福井大学
地域創生推進本部
附属嶺南地域共創センター

地域と共に創る、福井大学の「地域共創」 vol. 11 令和8年6月29日発行

嶺南地域共創センター ニュースレター

港まち敦賀の未来を描く

令和８年６月１２日（金）に、本学工学部建築・都市環境工学科の学生約３０名が、専門科目「都市設計演習第二」の講義の一環として、敦賀市内でフィールドワークを実施しました。

本取り組みは、「港敦賀のまちづくりデザイン」をテーマに、敦賀の歴史や地域資源を活かした中心市街地全体の将来ビジョン（アーバンデザイン）を提案することを目的としています。当日は、学生たちが８つのグループに分かれ、気比神宮や５つの商店街を含む、敦賀駅から敦賀港までの一帯を歩き、再開発が進む駅前や歴史的な街並みを実際に肌で感じながら、土地利用や人の流れ、景観などの現況を観察しました。フィールドワーク後は、本学の敦賀キャンパスに戻り、各自が歩いたルートや発見した地域資源をマップ上に示し、グループ内で活発な議論と気づきの共有を行いました。

今後はこの調査結果を基に、地区全体の回遊性を高める計画立案や詳細な建築設計、模型制作へと進みます。学生らによる柔軟な発想による、魅力あるまちづくりの提案が期待されます。


学生がフィールドワークを行う様子


グループ内での活発な議論と気づきの共有

高浜町の未来を創るスマートシェアリングタウンの実現へ、連携協定を締結

令和８年６月１８日（木）に高浜町役場において、高浜町、早稲田大学、関西電力株式会社、及び本学の四者による「スマートシェアリングタウンの実現に向けた連携に関する協定」を締結し、意見交換会が行われました。

当日は、高浜町・西嶋町長をはじめ、早稲田大学・冨岡助教、関西電力、本学工学部の学生らが出席しました。本協定は、分散する暮らしや人、資源をモビリティとエネルギーで繋ぎ、持続可能なまちづくりを目指すものです。「モビリティ×エネルギー×まちづくり」をコンセプトに、四者が持つ知見を結集し、先進技術を取り入れた研究や地域課題の解決に向けて連携・協力していきます。意見交換会では、これからの研究活動のあり方や未来志向型の地域づくりについて活発な議論が交わされました。

今後は本協定に基づく取り組みの一環として、高浜町で開催される「第39回全日本ライフセービング種目別選手権大会」（6/20・21）に合わせ、本学の学生主導でグリーンスローモビリティ等の利用ニーズや導入課題を探るアンケート調査を実施予定です。


協定締結後の記念撮影


高浜町役場での意見交換会

【発行・取材】福井大学 地域創生推進本部 附属嶺南地域共創センター
【敦賀サイト】〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1－3－33 福井大学敦賀キャンパス内
【小浜サイト】〒917-0069 福井県小浜市小浜白鬚112 白鬚業務棟3階

ホームページはこちらから→